

2016年3月8日

主催（公財）ミズノスポーツ振興財団

「2015年度 ミズノ スポーツライター賞」受賞者決定

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団では1990年度より「ミズノ スポーツライター賞」を制定し、スポーツに関する報道・評論およびノンフィクション等を対象として、優秀な作品とその著者を顕彰しています。

26回目を迎える本年度は、3月8日（火）、ザ・プリンスさくらタワー東京で2015年度選考委員会を開催し、受賞作品および受賞者を以下の通り決定いたしました。

なお、この「ミズノ スポーツライター賞」の表彰式は、4月22日（金）にグランドプリンスホテル新高輪で行います。

【ミズノ スポーツライター賞 最優秀賞】（トロフィー、副賞100万円）

- ・『ベルリンの奇跡 日本サッカー煌きの一瞬』（東京新聞）

竹之内 響介（たけのうち こうすけ）

【ミズノ スポーツライター賞 優秀賞】（トロフィー、副賞50万円）

- ・『広告を着た野球選手 ～史上最弱ライオン軍の最強宣伝作戦～』（河出書房新社）

山際 康之（やまぎわ やすゆき）

詳細は別記の通りです。

記

- 名 称： 2015年度 ミズノ スポーツライター賞
- 制 定 目 的： スポーツに関する優秀な作品とその著者（個人またはグループ）を顕彰し、スポーツ文化の発展とスポーツ界の飛躍を期待するとともに、これからの若手スポーツライターの励みになる事を願い制定
- 選 考 対 象： 主として新聞・雑誌・単行本などを通じて書かれたスポーツ分野の報道・評論・ノンフィクション等で、当該年度に発表されたもの
- 選 考 委 員： 委員長 岡崎 満義（元(株)文藝春秋取締役、「Number」初代編集長）
委 員 上治 丈太郎（(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 参与）
〃 杉山 茂（スポーツプロデューサー、元NHKスポーツ報道センター長）
〃 ヨーコ ゼッターランド（スポーツキャスター）
〃 高橋 三千綱（芥川賞作家）

※順不同

対 象 者：日本人および日本在住の外国人

受賞者及び選考理由：

●『ベルリンの奇跡 日本サッカー煌きの一瞬』（東京新聞）

竹之内 響介（たけのうち こうすけ）

1936年のベルリン・オリンピックで、初参加の日本のサッカーが優勝候補のスウェーデンを緒戦で撃破するという大番狂わせを演じたことはあまり知られていない。サッカー草創期のこの元気の出るエピソードを紹介しながら、その後続く戦争の悲惨を見つめ、チームの主将だった竹内悌三の悲劇と、それに続く心温まる因縁話を陰影深く描いている。

本書の特色は物語の構成が重層的で、考え抜かれた展開になっていることであろう。主軸になるのは日本サッカー史の一局面で、忘れられかけていたベルリン・オリンピックでの目覚ましい活躍の記録を発掘し、資料や証言を抜かりなく配して生き生きと再現し、サッカーにおける『ベルリンの奇跡』を描いて成功している。

多くの関係者の証言が利用されているが、特に現役最高齢のサッカージャーナリストで、2015年に日本で初めてFIFA会長賞を受賞した賀川浩氏のインタビューに負うところが多いとして、氏を「監修」という位置づけにして表紙に明記しているのも礼儀正しい配慮と言えよう。

●『広告を着た野球選手

～史上最弱ライオン軍の最強宣伝作戦～』（河出書房新社）

山際 康之（やまぎわ やすゆき）

戦前の日本プロ野球の黎明期において人気を集めた球団「ライオン軍」と、球団スポンサーとなったライオン歯磨の物語である。著者は1960年東京生まれのインダストリアル・エンジニア。現在は東京造形大学教授でサステナブルプロジェクトが専門である。多くの著書があるが、いずれもプロダクト・デザインの領域の専門書で、スポーツライターではない。著者が専門外の領域で、持ち前のち密さを生かして世に出したひとつの研究成果である。

プロ野球黎明期の人間模様や、試合を紹介しながらも、プロスポーツだからこそその柔軟性や一般企業との関係性を浮き彫りにしたユニークなノンフィクションである。テーマはネーミングライツビジネスの原点であるが、スポーツチームのスポンサーになっても、選手起用や作戦はもちろん、球団経営には口を出さないライオンの姿勢は潔い。スポーツマーケティングの視点からもたいへん興味深い、示唆に富んだ一冊である。

以上

（お問合せ先）

公益財団法人ミズノスポーツ振興財団事務局 内橋・古川 TEL. 03 (3233) 7009

ミズノ株式会社 広報宣伝部 東京広報課 木水・山本 TEL. 03 (3233) 7037